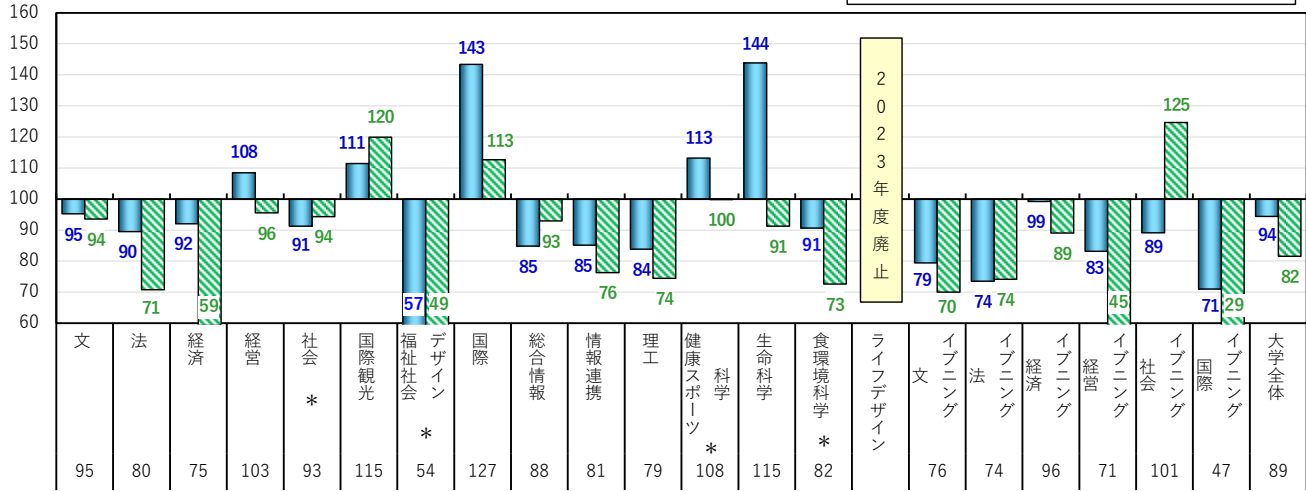


東洋大：一般は 4 年連続減少、共テは大幅減少

一般：-3,027 人 共テ：-8,153 人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数
 ※2022年度の追試験者(15人)を除く



* 社会は2022年度の(社会福祉)を除いた志願者数との比較、福祉社会デザインは2022年度の社会(社会福祉)、ライフデザイン(人間環境デザイン)、(生活支援)の合計との比較、健康スポーツ科学は2022年度の食環境科学(食環境科学/スポーツ・食品機能)、ライフデザイン(健康スポーツ)の合計との比較、食環境科学は2022年度の(食環境科学/スポーツ・食品機能)を除いた志願者数との比較

主な入試変更点

学部改組：社会(社会福祉)、ライフデザイン(人間環境デザイン、生活支援/生活支援学、子ども支援学) →福祉社会デザイン(社会福祉、子ども支援、人間環境デザイン)
 ※社会福祉学科は白山キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転
 食環境科学(食環境科学/スポーツ・食品機能)、ライフデザイン(健康スポーツ) →健康スポーツ科学(健康スポーツ科学、栄養科学)
 選抜方法：文(英米文)…<一般・前期4教科>新規実施
 経済(総合政策)…<共テ・前期4科目数学重視>新規実施
 福祉社会デザイン(社会福祉)…<共テ・後期3教科>新規実施
 (子ども支援)…<一般・多面的評価前期3科目>、<一般・前期4教科>新規実施
 <一般・前期3教科ベスト2>廃止
 (人間環境デザイン)…<一般・前期4教科>新規実施
 <一般・前期3教科ベスト2>廃止
 国際(グローバル・イノベーション)…<一般・前期3教科英語重視>、<共テ・前期3教科英語重視>新規実施
 情報連携(情報連携)…<一般・後期2教科(数・情報)+面接>新規実施
 <一般・後期2教科(文系)>、<一般・後期2教科(英・情報)+面接>廃止
 理工(機械工)…<共テ・前期5教科>新規実施
 (電気電子情報工)…<共テ・前期3教科数学重視>新規実施
 健康スポーツ(栄養科学)…<共テ・前期5教科>新規実施
 <共テ・前期3教科ベスト2>廃止
 生命科学(生命科学)…<一般・中期3教科ベスト2>新規実施
 <共テ併用・中期3教科ベスト2>、<共テ併用・後期2教科>廃止
 食環境科学(健康栄養)…<一般・前期3教科ベスト2>、<共テ・前期3教科ベスト2>、<共テ・中期2教科>廃止
 入試科目：情報連携(情報連携)<一般・後期2教科(英・数)+面接>、<一般・後期3教科>
 …数、外の出題範囲変更 ※いずれもマークシート方式ではない
 数：数Ⅰ・Ⅱ・A・B→数：情報連携のための数学(情報連携学部での学習を進めるために必要な数Ⅰ・Ⅱ・A・B)、
 外：コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ
 →外：情報連携のための英語(情報をテーマにした英文読解やコミュニケーションのために必要な基礎的な英語力を問う問題)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、11,180人(89)の減少で志願者数は2年ぶりに9万人を下回った。方式別では、一般方式は3,027人(94)のやや減少で4年連続減少。共通テスト利用方式は8,153人(82)の大幅減少で前年度大幅増加の反動。学部別では、イブニングコースを除いた14学部中9学部で減少。特に、学部改組の福祉社会デザイン(54)は旧社会(社会福祉)、旧ライフデザイン(人間環境デザイン)、(生活支援/生活支援学、子ども支援学)との比較で40%以上の大幅減少。

<一般方式>

- 文(95)は、やや減少で4年連続減少。学科・専攻別では、(教育/人間発達)(136)は大幅増加で2年連続増加だが、その他の7学科・専攻は減少。
- 法(90)は、減少。志願者数が4,000人を下回るのは2016年度入試以来7年ぶり。学科別では、(企業法)(101)は微増で2年連続増加。一方で、(法律)(83)は大幅減少で2年連続減少。
- 経済(92)は、減少で5年連続減少。学科別では、(総合政策)(83)は大幅減少で3年連続減少、(国際経済)(88)は前年度大幅増

加の反動で減少、(経済)(99)は微減だが2年連続減少。

- 経営(108)**は、2年連続減少の反動で増加。学科別では、(経営)(140)は2年連続減少の反動で大幅増加、志願者数は3年ぶりに5,000人を上回った。一方で、(会計ファイナンス)(76)、(マーケティング)(85)はいずれも大幅減少。
- 社会(91)**は、改組前の旧(社会福祉)を除いた比較で減少。学科別では、4学科全てが減少。(国際社会)(87)は2021年度の改組後2022年度から2年連続減少、(社会)(88)は減少、(メディアコミュニケーション)(93)はやや減少。
- 国際観光(111)**は、コロナ禍の影響による系統への低い人気が続中だが、3年連続減少の反動で増加。
- 福祉社会デザイン(57)**は学部改組されたが、前年度の社会(社会福祉)とライフデザイン(人間環境デザイン)、(生活支援/生活支援学、子ども支援学)との比較では大幅減少。学科別では、改組前と比較可能な2学科について見ると(人間環境デザイン)(63)は2年連続大幅減少、(社会福祉)(91)は前年度大幅減少に引き続き減少。
- 国際(143)**は、コロナ禍の影響による系統への低い人気は継続だが、3年連続大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(国際地域)(144)は3年連続大幅減少の反動で大幅増加、(グローバル・イノベーション)(142)も大幅増加で、新規実施の<前期3教科英語重視>を除いても(113)の増加。
- 総合情報(85)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 情報連携(85)**は、大幅減少。募集単位別では、特に<後期2教科(英・数)+面接>(17)の激減が目立ったが、数と外の出題方式の記述式への変更による負担増が影響。
- 理工(84)**は、大幅減少。志願者数は6年ぶりに5,000人を下回った。学科別では、全ての学科で減少し6学科中4学科は大幅減少。特に、(電気電子情報工)(77)は大幅減少で3年連続減少、志願者数は5年ぶりに1,000人を下回った。
- 健康スポーツ科学(113)**は学部改組されたが、改組前の食環境科学(食環境科学/スポーツ・食品機能)とライフデザイン(健康スポーツ)との比較で増加。学科別では、(栄養科学)(129)は2年連続大幅増加だが、募集人員が23人→45人のほぼ倍増で志願倍率は10.1倍→6.7倍へダウン。(健康スポーツ)(111)は増加で2年連続増加。
- 生命科学(144)**は、大幅増加で2年連続増加。学科別では、(生命科学)(161)は激増、(応用生物科学)(125)は大幅増加。
- 食環境科学(91)**は、改組前の旧(食環境科学/スポーツ・食品機能)を除いた比較では減少。学科・専攻別では、(食環境科学/フードサイエンス)(90)、(健康栄養)(91)がいずれも減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(94)**は、やや減少。学科・専攻別では、(教育/人間発達)(122)は大幅増加で2年連続増加、(日本文学文化)(103)はやや増加で3年連続増加。その他の6学科・専攻は減少、特に(英米文)(75)、(教育/初等教育)(83)は大幅減少でいずれも前年度大幅増加の反動。
- 法(71)**は、前年度60%近い大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、2学科がいずれも大幅減少。特に、(企業法)(58)は前年度激増の反動で大幅減少。
- 経済(59)**は、前年度激増の反動で40%以上の大幅減少。学科別では、(国際経済)(26)は前年度3.8倍増以上の反動で激減、(総合政策)(41)も前年度激増の反動で半減以下。(経済)(96)は前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
- 経営(96)**は、やや減少。学科別では、(会計ファイナンス)(147)は大幅増加で3年連続増加、志願者数は4年ぶりに1,300人を上回った。(マーケティング)(76)は大幅減少、(経営)(91)は減少でいずれも前年度大幅増加の反動。
- 社会(94)**は、改組前の旧(社会福祉)を除いた比較ではやや減少。学科別では、(メディアコミュニケーション)(105)はやや増加で3年連続増加。その他の3学科はいずれも減少で、特に(国際社会)(84)は大幅減少。
- 国際観光(120)**は、コロナ禍の影響による系統への低い人気は継続だが、大幅増加で2年連続増加。
- 福祉社会デザイン(49)**は学部改組されたが、前年度の社会(社会福祉)とライフデザイン(人間環境デザイン)、(生活支援/生活支援学、子ども支援学)との比較では半減以下。学科別では、改組前と比較可能な2学科について見ると(社会福祉)(54)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少、(人間環境デザイン)(73)も大幅減少で4年連続減少。
- 国際(113)**は、コロナ禍の影響による系統への低い人気は継続だが、増加で2年連続増加。学科別では、(グローバル・イノベーション)(159)は大幅増加だが、新規実施の<共テ・前期3教科英語重視>を除くと(92)の減少。(国際地域)(97)はやや減少。
- 総合情報(93)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。
- 情報連携(76)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 理工(74)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、全ての学科で減少し6学科中5学科は大幅減少。特に(建築)(64)、(生体医工)(66)、(電気電子情報工)(70)が30%以上の大幅減少が目立った。
- 健康スポーツ科学(100)**は学部改組されたが、改組前の食環境科学(食環境科学/スポーツ・食品機能)とライフデザイン(健康スポーツ)との比較で前年度並。学科別では、(栄養科学)(111)は前年度倍増以上に引き続き増加だが、募集人員が10人→20人に増加で志願倍率は19.3倍→10.8倍へダウン。(健康スポーツ)(79)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 生命科学(91)**は、減少だが廃止となった併用方式を除くと(93)のやや減少。学科別では、(応用生物科学)(110)は前年度大幅増加に引き続き増加、(生命科学)(79)は前年度激増の反動で大幅減少。
- 食環境科学(73)**は、改組前の旧(食環境科学/スポーツ・食品機能)を除いた比較では大幅減少。学科・専攻別では、(健康栄養)(54)は前年度激増の反動で大幅減少。(食環境科学/フードサイエンス)(93)は、やや減少。